

人吉地区

保護司会だより

第13号

人吉地区保護司会長
宮田 光秋

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は保護司活動

に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年7月の「社会を明るくする運動」出発式は第5回を迎え、錦町役場、人吉警察署、福島保育園の皆さまのご支援により、盛会のうちに開催することができました。活動開始後は、各保護司が担当市町村の行政や学校への働きかけを続け、取組が着実に定着してきております。

新年のごあいさつ



また、作文募集にも多数の応募をいただき、厚く御礼申し上げます。

さらに、令和7年6月1日からの刑法改正により、刑務所が従来の規律維持型の処遇から、対話や支援を通じて立ち直りを促す処遇へと転換することを意味しております。

人吉地区保護司会では、五つの部会が連携し、更生保護活動を推進しております。

私どもも研修を通じ学びを深め、社会復帰支援と犯罪防止に努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

熊本保護観察所長
富田 義博

人吉地区保護司会の保護司の皆様、そして人吉球磨地域の方々におかれまし

ては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

この原稿を執筆している時点では、まだ閣議決定の段階でありませんが、令和8年は、一昨年、法務大臣に提出された「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」の報告書に基づく保護司法の改正法案が成立して迎える年になるのではないかと思っております。

今回の保護司法改正は、保護司の適任者確保や活動環境の改善、安全確保等に関する法整備を目的としたもので、法務大臣は、国は世界に誇れる保護司制度を守っていく責務があると、法改正への理解を求めました。

熊本保護観察所においても、法改正の目的を踏まえ、これまで以上に保護司を始めとした更生保護関係者と力を合わせて、安全・安心な地域社会の実現のため、「地域に貢献する更生保護」を目指して努力したいと考えておりますので、引き続き皆様のお力添えをお願い申し上げます。

保護司会の活動報告



小さな手を精いっぱい振って、園児たちがパトロール車を見送りました。

笑顔でつながる

安全なまちへ

「社会を明るくする運動」出発式

人吉地区保護司会（宮田光秋会長）は、7月の「社会を明るくする運動」強調月間に合わせ、8日に出発式を行い、安全で安心なまちづくりを願ってパトリールに出発しました。

この取り組みは全国で75回目、人吉地区では5回目を迎えました。

当日は、保護司18人のほか、副町長や人吉警察署長、福島保育園の園児15人も参加。

園児たちが「地域みんなの笑顔で社会を明るく」と元気に呼びかけ、会場が和やかな雰囲気包まれました。

式の最後には、ステッカーを貼った6台の車両が、園児たちの手振りに見送られながら出発しました。

防犯キャンペーン実施

全国地域安全週間に合わせて

全国地域安全週間（10月11日、20日）に合わせて、人吉地区保護司会でも、多良木警察署や防犯協会と連携し、防犯キャンペーンを展開しました。

地域の皆さまの防犯意識の向上を図るため、銀行・郵便局・学校・駅など、さまざまな場所で啓発チラシや防犯グッズの入った袋を手渡ししながら、防犯を呼びかけました。今回、特に重点的に啓発したのは次の3点です。皆さまも日ごろから十分にお気をつけください。

「防犯啓発ポイント」

●電話でお金詐欺

「電話で「お金」の話が出たら、まず詐欺を疑おう」

●自転車の盗難

「施錠を忘れずに」

●あいさつ運動

「地域で、子どもたちの見守りを」



多良木署や防犯協会と協力し、防犯チラシを配布しました。

若い世代の薬物問題を学ぶ

保護司会

「第1期 定例研修会」を開催

令和7年9月2日、錦町福祉センターで「令和7年度 第1期 定例研修会」を開催しました。今回は「大麻について」をテーマに、熊本保護観察所八代駐在事務所の草野桂一主任観察官を講師にお迎えしました。はじめに啓発映像「今、薬物問題を考えよう！〜私たちの未来のために〜」を視聴し、その後、大麻の基礎知識や加工品の現状、法律改正のポイント、保護観察所の取り組みなどを分かりやすくお話いただきました。

講話では、薬物使用が若年層にも広がり、特に20代の検挙率が高まっていることが紹介され、地域での見守りや正しい知識の共有が大切であると改めて感じられる内容となりました。参加した保護司にとって、今後の活動に生かせる学びの多い研修会となりました。



社会を明るくする運動

作文コンテスト

9月に「社会を明るくする運動」作文の募集がありました。

この取り組みは、次世代を担う子どもたちに、犯罪や非行のない地域づくり運動への関心や理解を深めてもらうことを目的として行われています。

人吉球磨地域の学校からは、小学生24人、中学生86人、合計110人もの応募がありました。

その中から、優秀作文として、小学校・中学校それぞれ3点が県に推薦されました。なお、県に推薦された小学校3作品は、いずれも受賞されました。

子どもたちの素晴らしい感性と努力の成果です。たくさんのご応募、ありがとうございました。

推薦の優秀作文

小学生の部 (受賞作品)

ロアソン熊本賞

・「思いやりの心を広げよう」

久米小学校6年 桑原 琴那
熊本県小学校長会会長賞

・「地域で育つわたしたち」

深田小学校6年 田中 梨聖

熊本日新聞社賞

・「話せる人、話す時間が心の居場所」

深田小学校6年 椎葉 優子

中学生の部

・「立ち直りを支える力」

人吉第中学校3年 尾方 嶺五

・「犯罪をなくすためにできること」

人吉第中学校2年 米原 謙心

・「これからの犯罪をなくすために」

多良木中学校2年 尾方 修造

人吉地区保護司会会員名簿

(人吉市)

(多良木町)

吉川 泰人
高山 菊江
西田 裕二
上村 幸次
延岡 研一
大塚 則男
西 信八郎
澤井 和代
福川 義文
中村 禎成
日根野 彰
井福 綾
豊永 貞夫
和泉 千恵子
北澤 成弘
谷崎 さとみ

齊藤 哲男
魚住 憲一
竹下 美也子
※小川 広文

吉田 精二
堤田 真由美

荒嶽 優美
千葉 弘美
山中 美智代

坂本 悦子
早田 和彦
岡田 武志
澁谷 匡
三輪 千晴

宮田 光秋
紫安 まき子
山本 豊

(あさぎり町)

(山江村)

住本 壽司
鶴田 正國
福本 壽太郎
遠山 好勝
山口 尊生
平川 公徳
桑原 明彦
上田 真澄
※谷口 博文

西 孝恒
前田 裕久雄

(錦町)

(相良村)

(水上市)

(湯前町)

(五木村)

(球磨村)

日頃より、地域の皆様のご理解とご協力に支えられながら、保護司活動を続けることができています。更生保護は、対象者の立ち直りを支援するだけでなく、安全で安心な地域社会を築く上で、不可欠な取り組みです。広報誌を通じて、情報を発信し活動をご理解いただくことで、人と人が安心して暮らせる地域づくりの二助になれたらと願っております。また、保護司としての原点に立ち返り、今後も寄り添う気持ちを大切に取組んでいきたいと考えます。

皆様にとって、笑顔多き二年となりますように。本年もよろしくお願いたします。

廣報委員一同

廣報委員一同

後編
後編

後編
後編

後編
後編

後編
後編

後編
後編

後編
後編

後編
後編

後編
後編

後編
後編

後編
後編

おつかれさまでした

退任者

多良木町 瀬崎 哲広 さん

長きにわたり、更生保護活動にご尽力いただき、ありがとうございました。

人吉地区更生保護サポートセンター

〒868-0302 球磨郡錦町一武 1587-1

「農村婦人の家」内 人吉地区保護司会

基本的に、毎週月曜日から金曜日の午前9時30分から午後3時30分まで、当番保護司が職務に当たります。但し、必要場合は上記時間以外にも開所します。